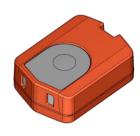
# ウェルカム ガイド

落水検知ユニット NDS-3000



落水検知ユニットをスマホに登録して、水につけてみよう

海に行く前に、まずお試しください

**簡易取扱説明書** Rev.2023-09

### JM-Safety 落水検知のしくみ

本機能は、落水検知ユニットで落水のおそれを検知した際、 Bluetooth®通信にてJM-Safetyアプリがインストールされたスマートフォンへ通知し、事前登録した通知先へインターネット経由でお知らせするものです。落水検知ユニットは、落水検出端子に一定時間、水が触れることにより落水を検知します。

## 落水検知ユニットの各部名称





# JM-Safetyアプリのインストール

本サービスをご利用するにあたり、スマートフォンやタブレットへ JM-Safetyアプリをインストールしていただく必要があります。 JM-Safetyアプリについては、以下のリンクを参照ください。









3

### ご使用の前に



で使用の前に本書とJM-Safetyオンラインショップ利用 規約、およびJM-Safetyアプリ利用規約等をよくお読 みのうえ、正しくお使いください。



JM-Safetyサービスは、落水事故のおそれがある時の早期発見や早期救助、航海の安全を支援する安心の提供をめざす補助として使用するものであり、事故における法的証拠としての効力、危険回避、人命救助などの安全を保証するものではありません。



落水検知ユニットを用いても、利用状況や通信状況によっては、完全に落水を検知および通知することはできません。



落水検知ユニットは、お客様自身で分解しないでください。正常動作しないおそれがあり、分解された場合は保証の対象外となります。



JM-Safetyサービスおよび落水検知ユニットのご使用は日本国内のみとさせていただいております。



本サービスをご利用するにあたり、スマートフォンやタブレットへJM-Safetyアプリをインストールし、ご使用中はアプリを起動しておく必要があります。



本書の内容は、予告なく変更する場合があります。また、アプリのバージョンアップ等により本書と実際の画面とは異なることがあります。

Bluetooth<sup>®</sup> のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。 App Storeは、Apple Inc. のサービスマークです。 Google Play、Google Play ロゴ、Android™ は、Google Inc. の商標または登録商標です。

スマートフォンと接続する

# Google Play、Google Play □□、Android!™ は、Google Inc. の商標または登録商標です

#### 落水検知ユニットの操作

スイッチを5秒以上(LEDが短く3回点滅するまで)長押しして電源をONにします。電源ON状態で、スイッチを短押しするとLEDが短く3回点滅すること(落水未検知を意味します)を確認します。この状態の落水検知ユニットのそばで、次のスマートフォンの操作を実施します。

#### スマートフォンの操作

- ① 画面下のメニューバーから「ユニット」をタップします。
- ② マイユニットの「+」をタップします。
- ③ スマートフォンのbluetoothをONにし、スマートフォンとユニットを10秒程度タッチしてください。
- ④ ユニットIDを選択し、「選択したものを登録」をタップします。
- ⑤ 落水検知をテストする場合は「テストする」を、テストせずに ユニット登録をする場合は「とじる」をタップします。





手順① 画面下にある「ユニット」

手順③ 接続設定画面

### 見守り通知先設定を行う

#### A. ご自身のスマートフォンの操作

- ① 画面下のメニューバーから「見守り」をタップします。
- ②「見守り通知先の依頼を送る」をタップします。
- ③ メッセージを送るアプリを選択し、通知先に指定したい方に メッセージを送信します。
- ④ 登録が完了すると見守り者加入のプッシュ通知が届きます。
- ⑤ 見守り通知先に名前とユーザーIDが表示されることを確認します。

#### B. 見守り通知先のスマートフォンの操作

- 受信したメッセージのURLをタップします。
- ② 見守り対象登録にてユーザーIDを確認し、「登録」をタップ します。
- ❸ 見守り対象に追加されていることを確認してください。





手順A.② 見守り通知先依頼画面

手順B. ❸ 設定完了画面

# 落水検知ユニットのお手入れ方法

- ① 海水がユニットに付着した場合は、電源を切った後、蛇口から弱めの水流で濯ぎ、乾いた布で水を拭き取ってください。
- ② ①で塩分が落ちない場合、10分間程度 水道水につけ置 きしてください。
- ③ ①と②を行っても、汚れが落ちない場合には、薄めた中性 洗剤を含ませた柔らかい布で、落水検知ユニットを優しく 拭き取り、水道水で濯ぐよう、お願いします。



使用後は必ずお手入れを行ってください。お手入れをせずに長時間放置した場合、落水検出端子等の金属面に付着した塩分により錆が発生し、故障の原因となるおそれがあります。



有機溶剤、防虫剤、酸性・アルカリ性洗剤はユニットのプラスチック部や防水パッキン、金属端子を傷めるおそれがあるため使用しないでください。



高温になるおそれがある場所(車のダッシュボード等)で ユニットを長期間保管しないでください。故障の原因とな るおそれがあります。



水に濡れたところや湿気の多い場所にユニットを長時間保管しないでください。故障の原因となるおそれがあります。



長時間使用しないときは電池消耗を防ぐため電源を切ってください。電池残量の目安はJM-Safetyアプリで確認できます。



ユニットを廃棄する際は、各自治体の規則に従って処理 してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

#### 落水検知を試してみる

- ① 落水検知ユニットの電源がONであることを確認します。
- ② ボウルや計量カップ等に塩水をためてください。
  - ▶ 塩水の目安: 1 カップ(200ml)の水道水につき、食塩小さじ1杯(6g) 海水でのご利用を想定しているため、水質によっては検知しないことがあります。
- ③ 画面下にある「ユニット」をタップします。
- ④「落水検知を試す」をタップし「テストする」を選択します。
- ⑤ 画面下にある「船どこ」をタップします。画面上に表示されている手順に従い、テスト通信を開始してください。
- ⑥ 落水検知テストモードが有効になったことを確認し、落水 検知ユニットを貯水に入れ、手を放します。数秒後、ご自 身のスマートフォンと見守り通知先のスマートフォンに落水 通知が届くことを確認します。
- ⑦ 通知が確認できましたら、画面上に表示されている手順 に従い、落水状態を解除してください。見守り先に解除通 知が届くことを確認し、テストモードを終了してください。





手順④「落水検知を試す」画面 手順⑥ 落水通知(見守り通知先) 6

### ご利用のヒント

落水検知ユニットとスマートフォンは、ネックストラップ等を利用し、首から掛けてご利用いただくと、比較的 落水検知しやすくなります。スマートフォンは防水ケース等を活用することで水から守ることができます(その際、落水検知ユニットは防水ケースに入れないよう、ご注意ください)。なお、水中では電波が伝搬しにくいため、落水検知ユニットやスマートフォンをポケット等に入れて落水した場合、検知や通知ができないことがあります。



### 保証について

製品ご購入後すぐに、本体等に損傷がないことをご確認ください。落水検知ユニットの初期不良につきましては、ご購入日から90日以内に別紙保証書の手順に従い、JM-Safetyサポートセンター宛てにご連絡ください。詳しい内容については別紙保証書をご確認ください。また保証書は大切に保管ください。

# お問い合わせ

ご質問や詳細情報、お問い合わせ等は、 JM-Safety サポートセンターまでアクセスください。 https://www.jmarinesafety.jp/support

本書や詳細な取扱説明書、ユーザーマニュアルは 下記URLからご覧いただけます。

https://www.jmarinesafety.jp/user\_data/manual

日清紡ホールディングス株式会社



Copyright © Nisshinbo Holdings Inc. All Rights Reserved.